Betrayed S Rank adventurer I make slave-only harem guild with my loving slaves.

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

7

原作 柊咲
漫画 川田暁生
キャラクター原案 ナイロン

★この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

Betrayed S Rank adventurer I make slave-only harem guild with my loving slaves.

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

7

原作
柊 咲

漫画
川田暁生

キャラクター原案
ナイロン

CONTENTS

第 53 話
いけにえ少女は膝の上 ——— 003

第 54 話
変態メガネが教えてあげる ——— 019

第 55 話
今すぐ揉める女 ——— 035

第 56 話
口に出したら顔に出る ——— 051

第 57 話
香りじゃないのよ舐めたわ ——— 067

第 58 話
抜かれても、いかせない天使 ——— 083

第 59 話
ケツベツのキス ——— 101

第 60 話
せいりょくが尽きるまで ——— 119

第 61 話
お母さんには言えない ——— 135

第 62 話
裸の王様と露出妻 ——— 151

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

ドドド

なっ…
何だこれは!?

クソっ!!

ガラ

ガラ

手綱を任せて
悪かったな

エギルさん
こそ
ご苦労様でした

あっ 森を
抜けますよ

これが
クロネリア・ユース!?
こんなに
発展してる
とは――……
第53話
いけにえ少女は膝の上

冒険者
カードを

ああ
これだ

どうぞ
お進みください

変ですね

Sランクの
レアカードに
無反応なんて

そうだな…

うわー！

だが
門兵といい
皆 無気力で

魂のない
人形のようじゃ

冒険者ばかり！
さすが冒険者の国!!

確かに…
まるで病気に
かかり始めた
ころの

母さんを
見てるよう
……

えっ!?

いつも夢現（ゆめうつつ）な
感じで

私たちが
目の前にいても
見えてない
ようでした…

ルージュ伝病か

うむ

知ってるの!?

原因不明の
不治の病だと
医者は言う

しかしあれは
呪術じゃ

呪術が蝕み
心を失わせていく…
医者には治せん

それじゃ…

うん

これから行く
呪術師(ドルイド)さん
なら

たぶん
治せる——

気になるのは——
なぜこの国の
冒険者に呪術が
かけられて
いるのか…

ここでいったん別れよう

呪術師の所へはフィーレヴィアエレノアサナルナ俺で行ってくる

じゃあ私たちは宿で待っているわね

それにしても昔とは変わったなこんなに豊かになるなんて…

これが豊かじゃと？

冒険者がクエストも受けずに昼から酒を喰らう姿が――

魔物にとっては歓迎じゃがのう

外の盗賊が
野放しなのも
頷けます

ああ…

俺は まだ
自分の国の
イメージを
はっきり
持ってないが

この国は
俺が考える
冒険者の国の
姿ではない！

着いた――

やっぱり
変わってない

ここが!?

本当に
ここに住んでいる
のか？

たぶん
昔から
こんなふうだし

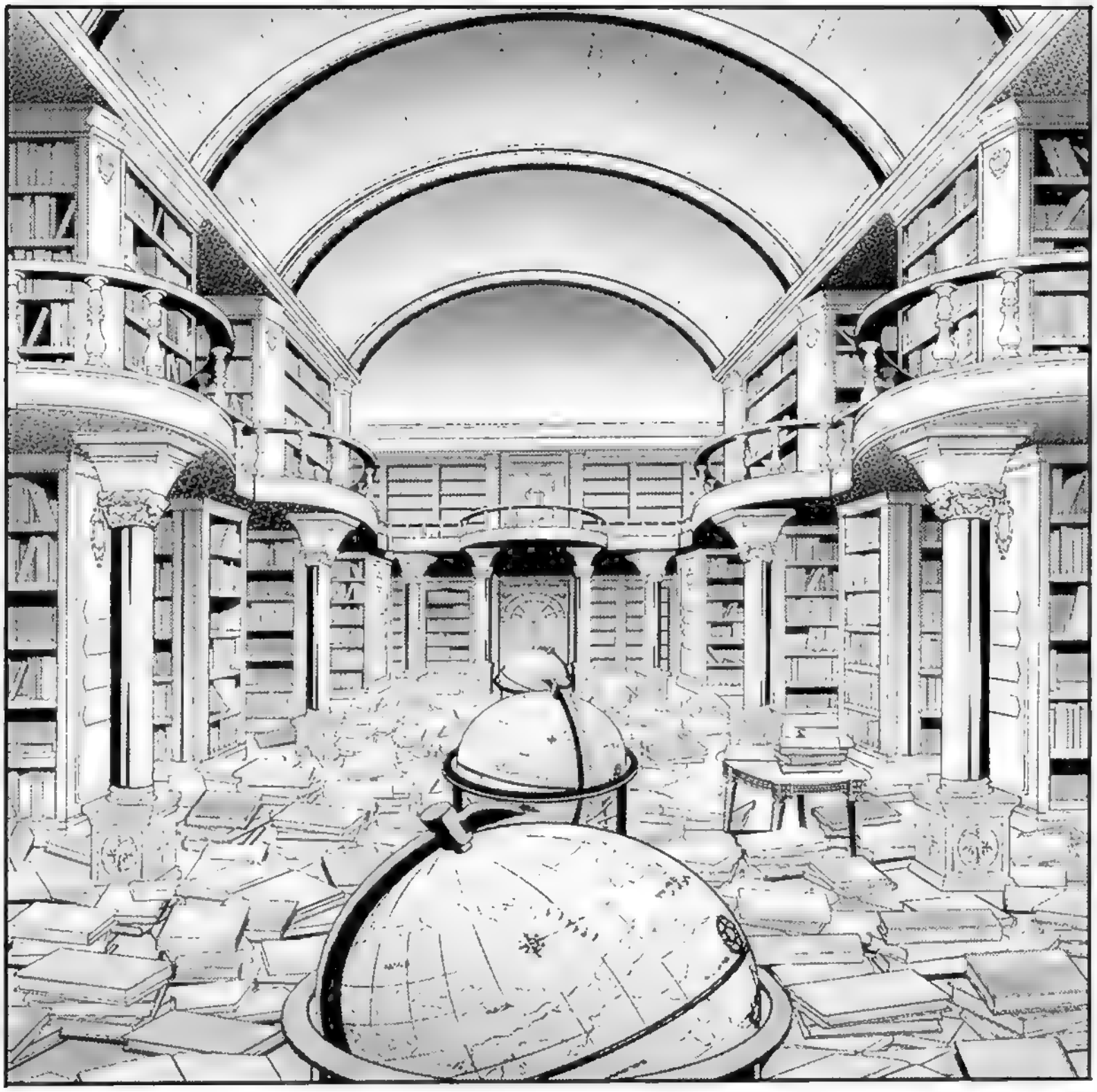
ええ～っ

良い匂いがする
ここの家主は
魔物かのう

ガチャ

入ってみるしか
ないな…

キィ…



すごい！
コーネリアの王室書庫の書物より多いです

しかし誰もいないな
留守か？
アレが出かけることなんてない

たぶんあそこ

ソフィアそこにいるの？
ん～
……

私の家に勝手に入って来たバカは…

誰よ…？

たくっ…

ん…

もしかして
フィー？

久しぶり
ソフィア

失礼ね…

ただ人が
苦手なだけよ

彼女が？

そう
ソフィア・アルビオン
…変わり者――

でも――

今日のお客は

私の超好み だわ～♡

久しぶりに会えて嬉しいけど何しに来たのフィー？

エギルが頼みたいことがあるの

ふうん

じゃあ二階に上がって

適当な所に座って

と申しましても本だらけですが……

そしてフィーは私の膝の上に！

いや！

じゃああの男の話聞かないわよ！

イラァ…

わかった…

さああなたたちも私の隣に座って

なんじゃろポンポン

身の危険を感じるのう

う…うん

なでなで

それじゃ
話を聞くわ

まずは
その姉妹の
母親の
病気に関してだ

病気？

ルージュ伝病
です

それで
呪術師の私
というわけか

やっぱり
病気じゃなく
呪術!?

だっ…
だったら

ソフィアさん
なら
治せますか？

もちろん
治せるわ！

ただし
条件が
あるけどね——

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

Betrayed S-Rank adventurer I make slave only harem guild with my loving slaves

母さんを治すための条件？

第54話 変態メガネが教えてあげる

いいよ！

お母さんを治すためなら

どんなことでも！

いい覚悟ね

じゃあ条件を言うわ

わしゃ
わしゃ
ワー!
ワー!
あなたたちを
フィーみたいに
愛(め)でさせて♡
え!?
……
ソフィアは
女好きで
超がつくほどの
ロリコンだから
ダイ
ダイ
違うわ
ただ幼い少女を
愛してるの!
それを
ロリコンって
言うの!
え…えっと
構わないけど
本当に
治せるの?

本当よ
術式さえ理解
できれば…

ドヤ…ッ

と言っても
わからないわね
フィーの首輪で
説明するわ

パァ

ゴゴゴゴ

これが首輪の
術式よ！

これは古代言語と
術者の独自言語を
合わせて複雑に
してるわ

ここなんかは
トラップで
間違えると
余計に術を
強めてしまうわ

こうやって
術式を調べて理解し
解いていくの

ソフィアさん
すごい！

これで
お母さん
治せますね！

そう簡単でも
ないのよ

心を失うまでの
強力な術式…
おそらくそれは

魔物による
正真正銘の
『呪い』じゃな

賢い子ね
好きよ♡

なで

なで

愛でて
あげるわ♡

う…
うむ

あの…
魔物の呪い
って…？

あっ
ごめんなさい

魔物の呪いは
人の術と違う

術式がなく
草木の蔓(つる)のように
呪いが絡み合って
いる上に

無理に引き剝がそうと
すれば呪いが強まり
死に至るわ

そんな…

心配しないで
魔物の呪いさえ
把握できれば

呪いを弱める薬を
調合してあげる

本当!?

薬で…
そんなことが
できるのか？

褒めてくれたの
嬉しい♡

ソフィアは
変態だけど
天才だから

褒めてない

もう一つ頼みたい
『神の湖』へ通じる
扉の封印を
解いてほしい

『神の湖』か…

そんな
神話級のネタ
研究者としては
放っておけないわね

いいわよ
双子ちゃんの
母親の件も
あるし

行ってあげる
あなたの国へ

ありがとう
助かる

ところで
ソフィアは
冒険者なのか？

ええ

クエストには
出ないけど

それでどうやって
稼ぐんだ？

国民のほとんどを
まかなうだけの
クエストの数なんて
あるわけないでしょ

私は研究者
他の人も別の職を
持っているわよ
それに――

この国では
高ランクの冒険者には
一定の報酬が
与えられる

国内外問わず
強い冒険者を
囲っているのよ

なぜだ…？
戦争でも
始める気か
？

さあ…

城に行った者は
術をかけられて
いるんでしょう
腑抜けになって
何も語らない

エギル様のことも
報告されている
かもしれません

そうか
門兵に…

あなた
ランクは？

Sランクだ

!?

最悪……

ガ

ガ

ガ

いいのか？

ええ もうすでに
私に監視が
ついているでしょう

でしたら私が
セリナたちを
呼んできます

一人で
大丈夫か？

狙われているのは
エギル様ですし

あちらの4人は
ソフィアさんが
放してくれそうに
ないですから…

では 行って
参ります

すまない
気をつけてな

高ランクの冒険者を
集めている…

何か

何か嫌な予感がします……

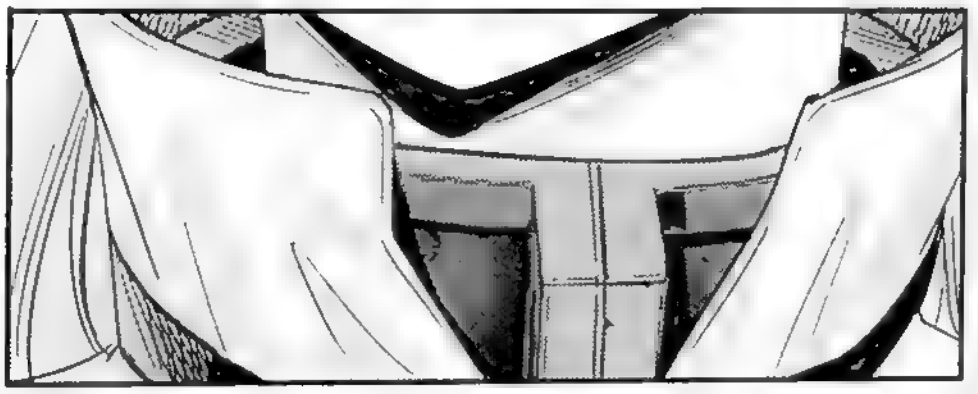
いえ
それよりも
急がないと！

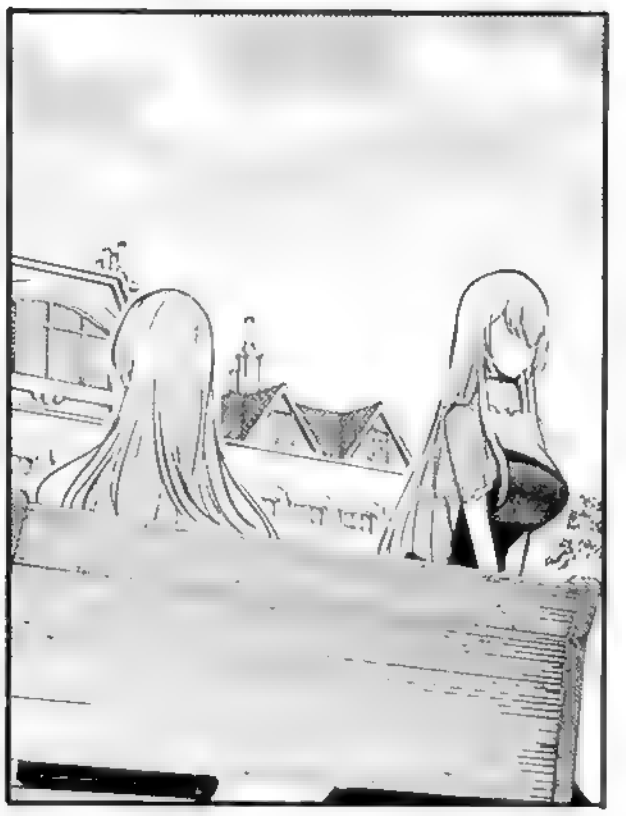
お付きもなく
急いでどこへ
行くのですか？

エレノア・
カーフォン・ルンデ・
コーネリア
第三王女様――

失礼

今は
エギル・ヴォルツに
飼われている
奴隷でしたわね





奴隷具…

あなたは――

ルディアナ・モリシュエさんですか

フフッ光栄ですこと

私ごときの名を元王女様がご存じとはエギル様からお聞きしてましたので

彼 私のこと話さないと思っていたのに

そう…あなたが私の計画を邪魔し彼を悪い方向へ行かせてしまったのですね

計画？

この人がルディアナさん…？ですが…

ルディアナは
笑顔が可愛らしく
優しい

守ってやりたく
なるような
男女関係なく
好かれる女性だ

あなたは本当に
ルディアナさん
ですか？

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

Betrayed S-Rank adventurer I make slave only harem guild with my loving slaves

第55話
今すぐ揉める女

あなたは本当にルディアナさんですか？

疑うのでしたらお話しましょうか

スッ

あなたの知らないエギルのこと――

―

結構です

あなたと
エギル様が過ごした
過去に興味は
ありません！

あら残念

あなたのしたことを
聞いています

エギル様を
魔物の群れに
突き落とした
と――

フフッ

好きで
突き落としたわけでは
ないですよ

彼なら
あの状況でも
生きられると
思ったからです

くるっ

エギルは元々
臆病で力がなく
とても弱い男

ですが大切な者の
ためなら
どこまでも
強くなれます

私は彼に
強くなって
ほしかった

だから
試練を与えた
んです！

魔物の群れの中で
生き残り

本気でそんなこと
思っているのですか

腐ってますね!!

強く成長し
私を追ってくる
ように——

あはっ…はは
腐ってる？
私が？

これは
愛情です！

愛情…？

そんな歪んだ愛情あるわけ――

ありますよ

現にここに

出逢った頃の彼は二人の兄に隠れるような弱々しい少年でした

私に会う時だけ強く見せようとして何の魅力もなかった

だから私は一度 彼の前から消えたのです

そして再び会った時彼は素敵な男性に成長していました

さらなる成長を望み もう一度突き放すのは愛ではなくて？

エギル様は愛する
ものを守るため
強くなったのです

あなたの
身勝手な欲望を
愛と呼ばないで！

偉そうに…

よくそんなことが
言えますね

エギルに群がり
腐らせる
害虫のくせに

害虫!?

そうでしょう

エギルは
もっと高みを
目指せるのに

あなたたちとの
ただれた生活で
堕落しました

まるで果実が
腐って地に
墜ちるように――

私たちは深く愛し合っているだけです！

愛……？

エギルが本当に愛しているのは私だけですよ

そんなはずありません！

でしたらエギルを私の前へ連れてきて確かめましょう

傷つけたあなたに会うとでも？

彼に植え付けた私への愛情は深く刻み込まれてます

だから彼は必ず私の元へ戻ってくる

だって――

私にはそれができるんですもの！

この甘い香りは――!?

スン…

ドロン

この香りは
職業の力

この力で
エギル様を
魅了して
いたのですか!!

素敵な
香りでしょ

エギルは
この香りを
私の側でずっと
堪能していました

まるで麻薬の
ように…
その意味が
わかりますか

ガラッ

エギル様が必ず
戻るという自信は
その力のせいですね

力……そうよ
魅力というね！

ふざけないで!!

そんな偽物の感情に
私たちの愛が
負けるわけない!!

言いますね
…ですが

あなただって

ハッ

ドッ

グイッ

!?

このいやらしい身体でエギルを誘惑し

何度も身体を重ねたのでしょう

私と何が違うのですか？もしかしたら

びくっ

びくっ

エギルのあなたへの愛情も偽物かも――

放して
ください!!

そんなはず
……

言い返すこともできないのですね

ドサッ

エギルに
お伝えください

私たちの
思い出の城で

待っていると
――

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

Betrayed S-Rank adventurer I make slave only harem guild with my loving slaves

ルディアナに会った!?

はい…

エギル様に思い出の城へ来るようにと

会わないでください

彼女は悪魔です！

第56話

口に出したら顔に出る

彼女の職業の力は香りで魅了し操る能力

この国の冒険者にかけられた術もおそらく…

俺の気持ちも操られていたと…

だったら安心していい

俺は――

ルディアナに
会うつもりは
ない！

え!?

今大切なことは
一刻も早く
サナとルナの
母親を解呪し

『神の湖』の件を
解決させることだ

エギルさん

彼女への復讐の
気持ちもないし

彼女に魅了
されていたのは
過去のことだ

今 俺が
愛しているのは

ここにいる
家族だけだ!!

何を不安になっていたのでしょう

私たちは
こんなにエギル様に
愛されているのに――

話はまとまった？

ああ

すぐに出発する夜の闇に乗じてな

そんなに簡単にいくかしら…

とにかく気づかれないうちに――

ガチャ

!?

囲まれている
他の出口はあるか？
どこも
無理みたい

フェニックスに
調べさせたけど

王城までの道
以外

冒険者に
封鎖されてる

ゴゴゴゴゴゴゴゴ

じゃあ私の九尾(きゅうび)で――

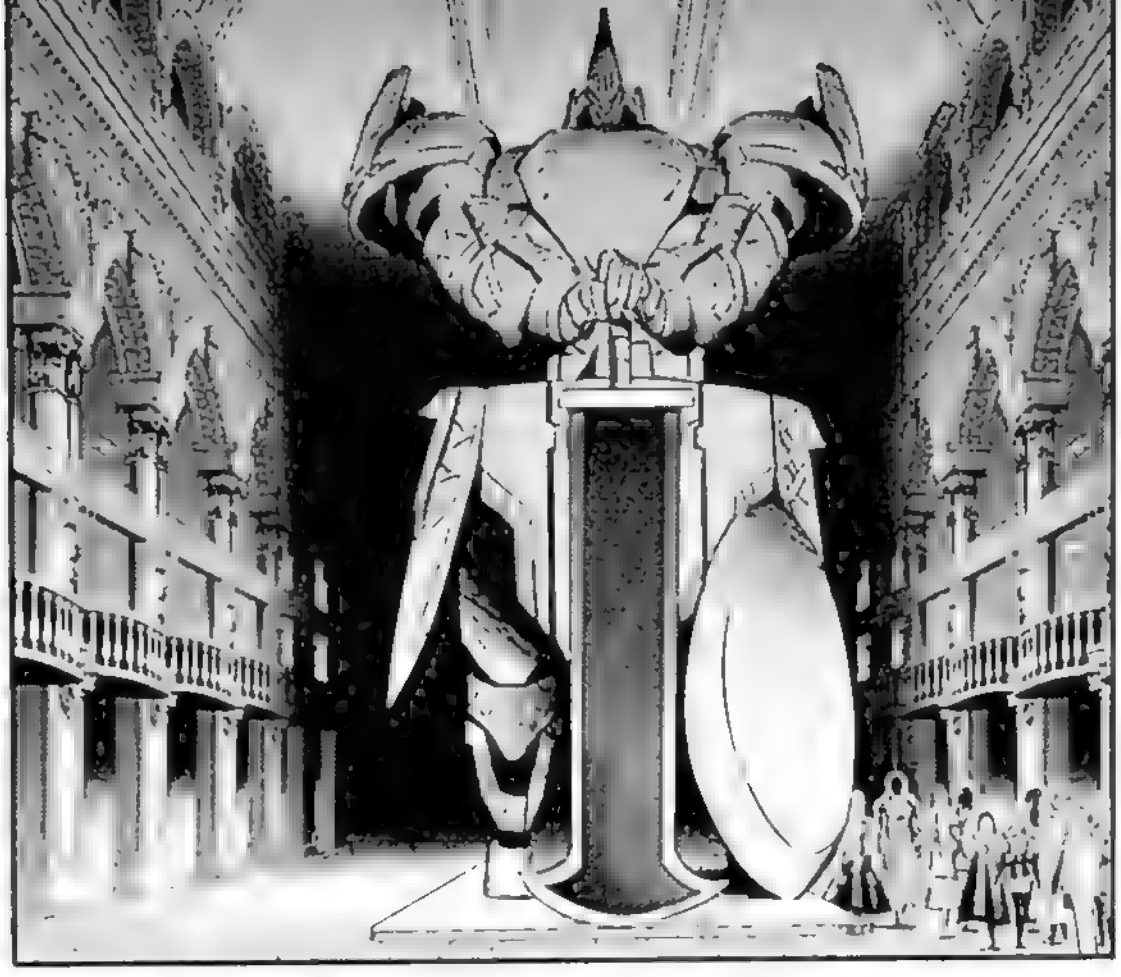
彼らは操られているだけだ傷つけたくない

エギル様

ルディアナめ

どうしても俺たちを

未来へ進ませないつもりか



良かった
来てくれて

ルディアナ…

久しぶり
エギル

やはり彼女が
ルディアナさん…

ルディアナ

俺はもう
お前とは
関わらない！

ワルルル

懐かしいでしょ

エギルに会うから
久しぶりに着たの！

それは
あなたの
本心？

その者たちに
上手く言い
くるめられ
ましたか

本心だ！

俺はこれから
愛する者たちを
守りながら
生きる！

……

やり直し――

何!?

すべてやり直しましょうエギル！

くっ…や…やめろ

ルディアナ……

ゲゲ

なんで？
どうして？
愛する人を拒むの？
あなたの愛する人は――
エギル違うでしょ

ううう……
ぐっ…
ブスキ ブスキ
エギル様!!

ソフィアさん

術式解読!!

術式がない
どうして…？

外の連中を
操るほどの力
術式なしで
発動させる
高ランク者
かもしれぬ

それなら——
私の術を
上書きするのみ!!

キュイイイン

私と
エギルの

邪魔を
しないで――

なっ…
何!?

この
振動は!?

DL-Raw.TV

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

Betrayed S Rank adventurer I make slave only harem guild with my lovely slaves

第57話 香りじゃないのよ舐めたわ

何あれ……

あんなものも操るの…？

……どういうこと

あの巨像にも術式がないわ

なんじゃと!?

ダーッ

ダ

ダダダダ

巨体とはいえ
元は ただの
置き物(はりぼて)——

空風裂破（くうふうれっぱ）

「剣」

フィー
すご…

あ!!

!?

ドゴォ

キャっ…

フィーちゃん!!

よくも…

悪神九尾!!

ゴゴゴ

魔物？
あれも術なの？
血筋に受け継がれた呪いじゃよ
研究者かたなしね…
あれが華耶(かや)さんの九尾…
私たち戦おうルナ
母さんが待ってるんだ
絶対に帰るよ!!
うん！

ピィ

行け！

天雨（てんう）!!

ドドドド

!?

ポオ…

光の爆撃を――

エクスプロージョン!!

ドカ

ドカ

そういうことか

どうやら術式が
ないわけでは
ないようじゃ

どういうこと
？

おそらく
術式は

術に
隠されている

術に？

……

!!

そうか…
私たちは
すでに
あの女の術に
かかって
いたのね――

うう…
エギル様…

あなたのお友達
強いわね
あなたたちも
私のものになって
もらおうかしら

誰も
なりません！
そうかしら
？
エギルは
時間の問題よ

愛する私と
やり直す気に
なってくれた？

くっ…

お前と
関わる気は…
ない！

動けないか…

強情ね
それなら

素直に
なるまで

ご奉仕して
差し上げましょう

ギュッ

ここは
素直ね♡

こんなに
パンパンにして
私への愛が詰まって
いるのね

レロレロ

ぜーんぶ
受けとめてあげるわ
エギル

あーん
♡

ん♡

…うっ…
で…出る
……

ズチュ

ビュッ

ズチュ

ビュッ

ズチュ

ビュッ

ん♡

ビッ
ビッ

んはあ♡

すごい量……いいわ♡

あなたの愛はすべて私のもの次は――

ここにちょーだい♡

や…

やめろ…

もう少しね

お主は香りで
人を操ってなど
おらぬな

なぜです？

魔物を操る
我には
よくわかる

こんなに
時間をかける
操作系能力など
ありえんのじゃ

お主の職業は
香りで幻を
見せる

幻術師（ミラージスト）!!

幻術!?

エギルだけでなく
我々全員にじゃ

え!?

あの女があなたに
接触した時
――残り香に

術式を仕込ませて
私たちに術を
かけたのよ

そんな…

でもどうして
彼女が
幻術師だと?

影じゃよ

あの巨像
光系の攻撃を
受けた時 全く
影ができなかった

もう一つは
術式が見えな
かったこと

術式の存在を
幻影を幕にして
隠しているのよ

術式

幻影

では
あの巨像も
幻…？

そう 強力な幻は
本物と変わらないわ
感触も痛みもね

ですが
幻術師は
Bランクの
職業

この力は遥かに
それを超えてます

そうよ私は
幻術師なんか
じゃない

そんなものを
超えた存在に
なったのよ!!

あの女の
力の謎は
我らが解く

お主は

お主の力で

エギルにかかった
術を解け！

ヒュウウウウ

第58話
抜かれてる、いかせない天使

動きを止めた…

でも全く手ごたえを感じないわ

おかしい何かある

そう

あれは幻よ！

幻!?

本物にしか見えないわよ

それだけ強力な術ってこと

あの女の香りによって――

私たちの脳には
幻を受信するための

術式が
形成されている

幻を送信する
術式はおそらく
幻によって
隠されている

私たちが見つける
可能性があるから
固定されているとは
考えにくい

だとすれば
移動し外敵から
守ることができる

巨像の中に
術式があると
推測されるわ

どうしたらいいの？

正確な位置までわからないから

あの巨像全体を範囲とした強力な攻撃で術式を破壊するしかないわ

雑…

それにそんな攻撃エギルさんくらいしか…

……

ギッ!!

それ私に任せてもらえない？

私の一番強い聖魔法ならやれるかも!!

威力は？

前使った時は
レッドドラゴン
倒したよ！

それなら
いけそうね

駄目だよサナ
あの時は
エギルさんの
魔力を借りたんだ

失敗したら
無事じゃ
すまないよ！

わかってる…
でも

いつまでもみんなに
頼ってばかりじゃ
駄目だから

それに今
やらなかったら
母さんに顔合わせ
られないよ

ポン

いつだって
頼っていいのよ
家族なんだから

セリナさん
……

でも今は
サナに
頼る番

そうね

だから
私たちは

全力で
援護する!!

みんな…

ありがとう

サナ
言ったよね

お母さんの
所へ絶対に
帰るって…

う…うん

信じてる
から！

動き出した！

巨像を
サナに
近づけるな！

ダッ

セフィロスの
神々よ

我らに
幸福を

汝らに
絶望を——

ズズズ

何これ
魔力どころか
体中の力を
持っていかれそう…

やっぱり
一人じゃ無理なの
……

いや

ガガガ

みんなが
私のために時間を
作ってくれてる

ドン

私も
みんなの
気持ちに
応えるんだ
!!

すべてを裁く

光の雨を
降らせたまえ――

きゃあああ
――っ

しまった
抜かれた…

サナ
逃げて！

闇を穿つ一射

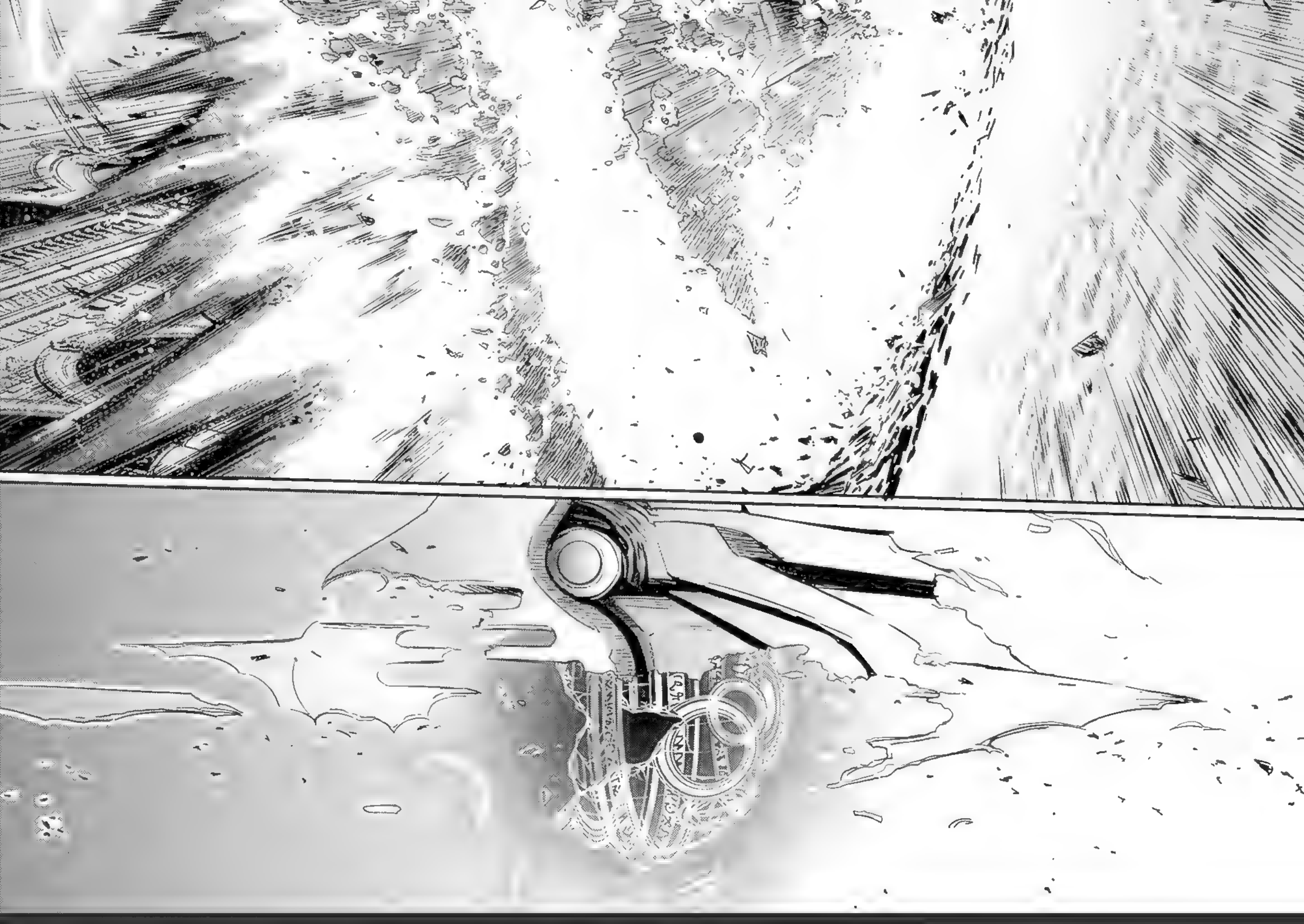
六連!!

サナの
もとへは
行かせない!!

サナ！

ありがとう
ルナ！

ホーリージャッジ!!!



やった!!

え!?

壊れた場所が

元に戻って…
あれも幻…?

力が…

ガク

大丈夫?
やったね
サナ!

ルナ

ポス

やっぱりサナは
わたしの自慢の
お姉ちゃんだよ!!

へへ…

そんな…
私の術を
破るなんて…

!?

言ったはず
です
誰もあなたの
思い通りには
ならないと

そう…
ですが
これでも
同じことが
言えて？

!?

エギル様!?

びくっ
あ♥
はぁはぁ
はぁ♥
びくっ
あぁ…♥
ビュッビュッ
ビュッビュッ

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

Betrayed S-Rank adventurer I make slave only harem guild with my loving slaves

エギル様!?

第59話

ケツベツのキス

フフッ無駄よ
彼はもう
私のものよ

幻術でSランクの
エギルを取り込むとは
凄まじい力じゃ

しかし――

お主からは
先導者の器の輝きを
感じられぬ

どうやって
手に入れた？

その紛(まが)い物の力――

紛い…

物…

お前も
あの男のように
私を蔑(さげす)むのか!!

エギル！
先に生意気な
ガキを殺せ！

いけません
エギル様
彼女は
仲間です

仲間は傷つける
ものではなく
助け合い
守るものでは
――
お前……

バカな
女へ
そのまま
首を串刺しに
してあげなさい
エギル!!

術式
捕縛!

うっ

ぐぐぐ

くっ

術封じ!?

巨像の中の術式が破壊されたおかげでこっちの術式も見えるようになった

一時的だけどその男への術式を弱めるわ！

うう…

エ…

エレ…

ノア…

エギル様

そんな幻に囚われず
私たちのもとへ
帰ってきてください！

させない
!!

ぐあッ

エギル様
!?

術式が弱まって
惑わされぬようになったか

愛する者に
剣を向けるの？

俺はお前と
決別する！

駄目よ
あの男から
解放されるため

私のものに
なってもらうわ
エギル

ズズズズズ!!!!!!

あの男？

あなたは私のために
生きなさい！

キキキキキ!!!!!!

ドゴォ

ドキッ

私の幻の
世界なのに
この強さを
保つなんて……

ゴゴゴゴ

ますます
あなたを手に
入れたくなったわ

エギル

何度やっても
同じだ

あきらめろ
ルディアナ…

これなら
どうかしら

なッ!?

バッ

ぐはッ

まずい
幻に
飲み込まれる

ゴゴゴゴ

ッ…

エギル様
覚えていますか？

奴隷
オークションの
あの日のこと

たくさんの
奴隷の中から
私を見つけた時

とても熱い
視線を向けて
くれました

もう一度
あの時の
ように

私を
見てください——

私の幻の世界に
介入するなんて…
エレノア

エギル様

もう絶対に
離しません！

私の世界を
壊し

勝手に
入り込んだ
無粋な泥棒猫

ゴゴゴゴゴゴ

エギルを先に
見つけたのは
私！

エギルが
愛したのは
私！

エギルを
強くしたのは
私！

エギルは
――

バキ

わだしのもの
おおおお――!!

ドド

俺は
お前の
ならな
い！

ダッ

彼女たちと
幸せになる
道を選ぶ!!

ありがとう
エレノア

エギル様

まだよ…

あの男を
見返し

私は
やり直すの
……

エギル
……

……
お……

お前は
誰だ？

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

Betrayed S-Rank adventurer I make slave only harem guild with my loving slaves

わ…私は
ルディアナです

あなたがずっと
愛していた――

いや違う
嘘はやめろ
！

ど…
どういうこと
ですか？

…っ

第60話
せいりょくが尽きるまで

ならば
もう一度…

キィィィィ

触るな!!

これは
私のものよ
絶対渡さない!

やはりな
その未知の
聖力石が お主の
異常な力の源
未知の
聖力石!?
ガシッ

やっと見つけたのじゃ!!

なんだ あの喜びよう…

あの聖力石に何かあるのか？

お主 それをどこで手に入れたのじゃ？

い…言うわけないでしょ

ならばお主を殺して聖力石(それ)を頂く！

いやよ
私にはまだ…

!?

逃(のが)さぬ!!

パチン

ドロロ

!?

ドドド

なんで
ドラゴンが…

――っ!?

あきらめろ！

すべて話して
もらおう

そうよ
私はルディアナなんか
じゃないわ

すべてお前を
手に入れるための
幻影

ただ 全くの
他人でも
ないわね…

俺を知って
いたのか？

私はもともと
貧乏な
貴族の生まれ

お前と
ルディアナが
出会ったころ

私も
お前の屋敷に
足を運んでいたわ

とても楽しそうに
遊んでいる
二人を

ずいぶんと
見せつけられたわ

生きるのに必死な
苦労なんて知らなそうな

その態度に
心底
イラついたわ

だけど しばらくして
私の家は没落し
その日の食べ物にも
困る日々の中

あの男は
現われた――

いい目だ
身を落としても
なお這い上がろうと
する その目

君にやり直す
機会（チャンス）をあげよう

これを
受け取りたまえ

これを使って
私のために働いて
くれれば

前以上の
富と地位が手に
入るだろう——

その男は
どこにいる？

私が
知りたいわよ！

あの男は私を
利用し散々
汚い仕事を
させた挙句

富と地位
どころか

あの男の奴隷に
落とされたのよ!!

いつしか私は
あの男から解放
されることばかり
考えるようになった

そんな時
お前の抹殺命令が
届いた

俺の
…？

そう…
お前が
ルディアナを
失い
修行していた頃

私は幻術でお前に
ルディアナの姿を見せ
近づいた

でも お前を見て
驚いた

たった一人の女を
失っただけで
こんなに強く
なるなんて

だから私は――

賭けたのよ

あの男の
指示に従い
つつ

お前が魔物の中から
生き残り 強くなって
戻ってくることに

そして私は
賭けに
勝った!!

あとはお前を
手に入れるだけ

これさえあれば
私はまだ――

え…!?

聖力石の輝きが

消えた!?

そう…

これが力に溺れた代償…

あの者たちは私を使って……

この力を試したのね

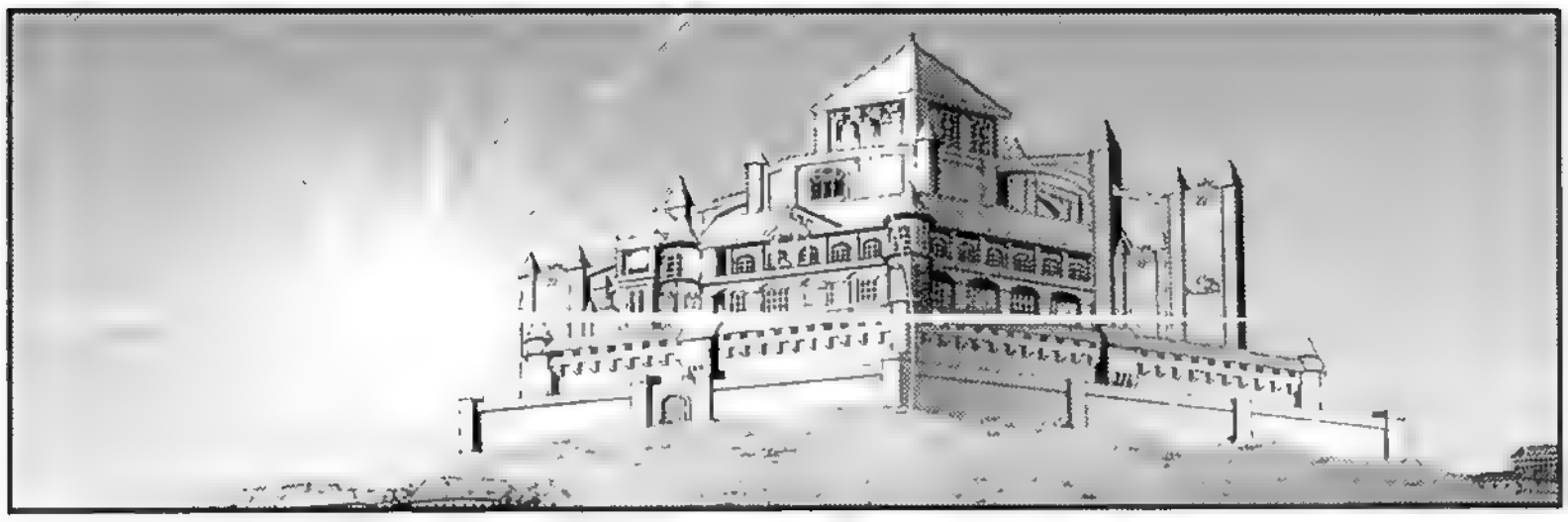
何を言っている？

あの者たちとは誰だ？

神々に最も近い…そんざ…い…

ガシ

いずれ会うことになるわ



すまない
まだ傷は
痛むか？

ヒラ ヒラ

いえ…
サナさんに
治療魔法をかけて
もらったので

エギルさんこそ
大丈夫ですか？

情けない話だ
幻を見せられていた
とは言え 別の女を
追いかけていたんだ

髪の色とか
雰囲気が

エレノアに
似ていたから
てっきり

エギル様が
初恋の人に
似ていたから
私を好きに
なったと？

ガク ガク

ああああーっ
言ってないでしょ

落ち着け
本物のルディアナは
黒髪だ

黒髪ですか…？

あ!?

俺は彼女に

どうした？

いえ

本物のルディアナさんはどうしてるのかと

そうだな…

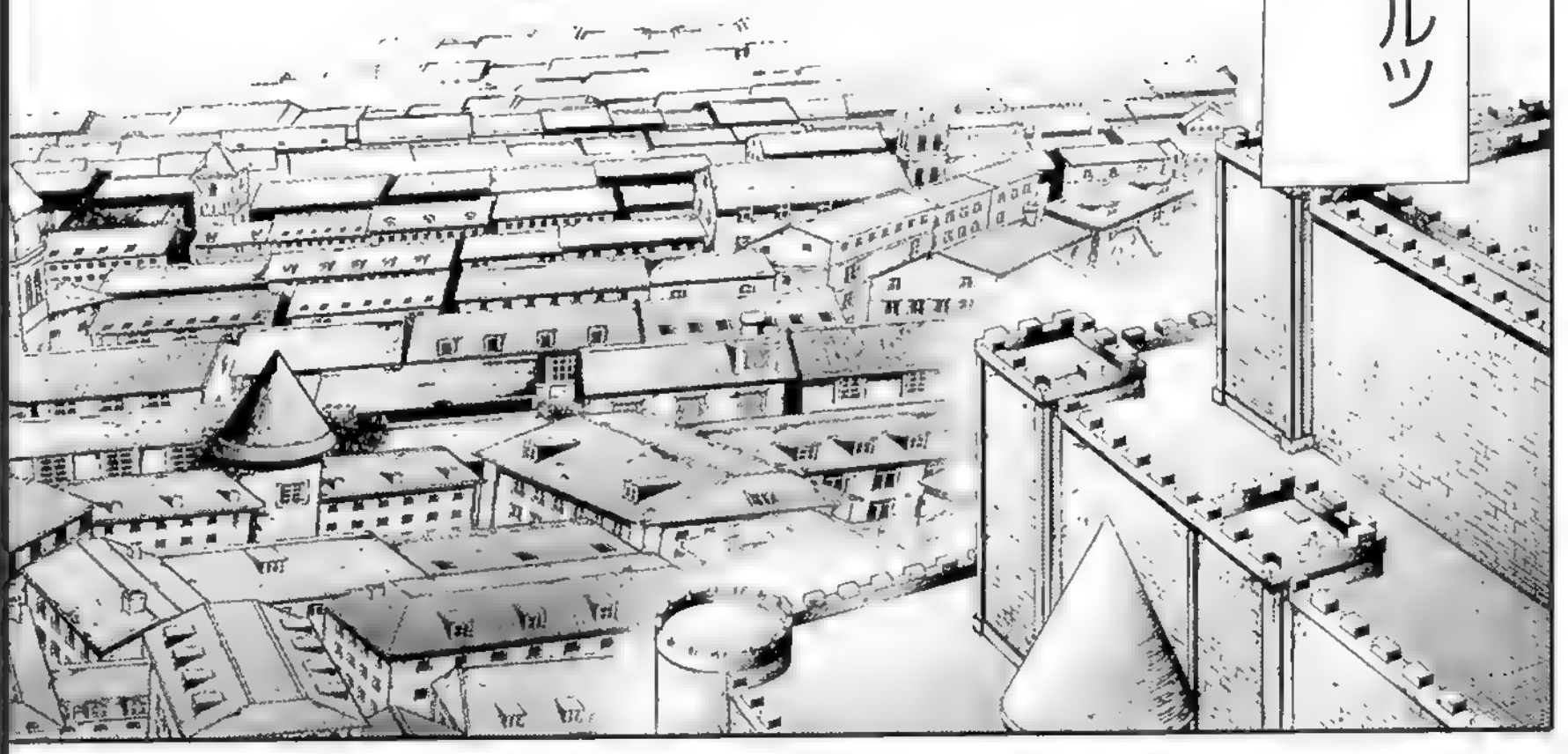
ただ言えるのは

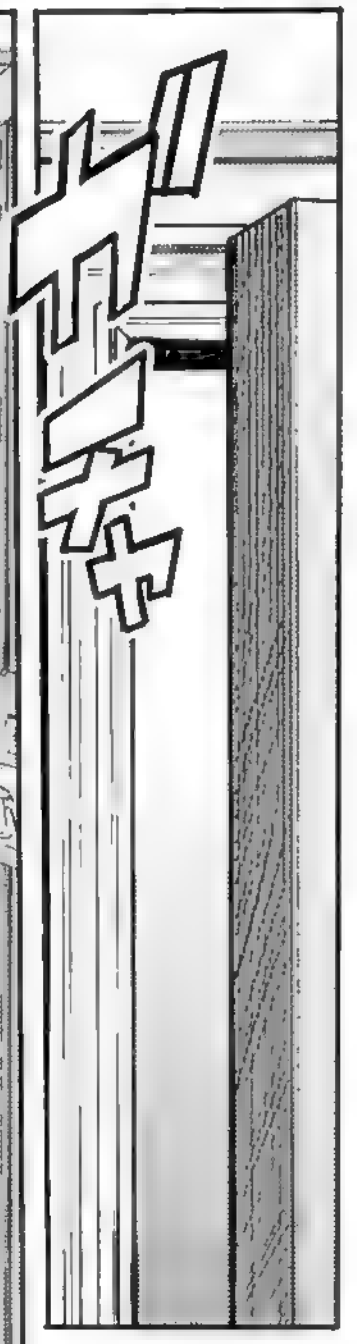
裏切られてなかったんだ

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

Betrayed S-Rank adventurer I make slave only harem guild with my loving slaves

第61話
お母さんには言えない





お母さん…

良かった
目を覚まして

心配かけたわね
もう大丈夫よ

お父さんは
どこ？

!?

そ…
それは…

あなたたちを
連れて頑張って
くれたんでしょ
感謝しないと

ちが…

サナ!!

早く
会いたいわ

二人のこれまでも
父親のことも
知らないのか？

ええ 今まで
ずっと寝ていた
ようなものよ

聞いたわ
二人の父親の
こと

他で
女を作り

クエスト中に
二人をおいて
逃げ行方不明

母親には
言えないわね

——って
どうする
つもりよ!?

あの二人の
今までの
頑張りまで
隠す必要は
ないだろ

グッ

失礼——

エギル
さん!?

どなた？

エギル・ヴォルツ
この国の王です

これは失礼を
お見苦しい姿で
すみません

この度は娘共々
大変お世話に
ありがとうございました

主人とも話を
したいのですが

主人は？

ご主人は
ここにいません

え!?

あなたが治らない
うちに姿を
消しました…

ど…

どうして？

耐えられなかった
のでしょう

あなたを失うかも
という不安に

ですが
この二人は
それに耐え

最後まで
諦めなかった

いつも俺や
仲間を助け

力になって
くれた

あなたを
救ったのは
この二人
です!!

……
ごめ…
……

サナ
ルナ

ありがとう

よく
頑張ったね!!

うわあああん…

パタン

父親のこと
それでいいの？

知らなくて
いいことも
あるさ

いつか母親が
真実を知る時が
来る

後悔する
わよ

そういう
性分なんでね

それより
次は『神の湖』の
封印を頼む

わかって
いるわ

ふう～

私には無理ね
!?
この封印は私の知らない術式で施されているわ

ソフィアでも
わからないのか？

これまで
見てきた
どの術式にも
似てない

これを開けられる
としたら この扉を
封印した者だけよ

ヘファイス
伝授神か…
…

この世界の
どこにも
存在しない

開けられない扉を
後に残すとは
考えられない

…そういえば…

地下へと進んだ
者の記録が書庫に
あったとエレノアが
言ってたな

本当!?

封印が解けるなら
再構築もできるわ

それを可能とする
特別な存在が
いたということ

へ、
そうなると
いよいよ
神教団の連中
とくに上位の者の
可能性があるな

……
……
もしかしたら

心当たりがある
時間をもらえる？

わかった
頼む

そういえば
あれだけ
『神の湖』に執着
していたのに

どうしたんだ
レヴィアは？

ドドドドド

やめろ
おおっ

ならば
話せ

これを
どこで入手
した

普段 地下に
こもっている神教団の
お主たちが表に出てまで
回収したかった物だ

話さぬなら――

ひいいーっ
待て

エ…
エズリア大陸だ！

イスリファ・オルス・
アーネストリー！

神教団の幹部
ヘファイス
伝授神様に
最も近い女――

女？

あの男が
――

まあよい

皆の者
その女を捜せ

生きたまま
ここへ！

もう少し
じゃ

エンド
レッタ

はぁ～

やはり俺には
調べ物は
向いてないな…

!?

トトト

サナか
こんな時間に
どうした？

……
あ…の…

さ…さっきの
お礼ちゃんと
してなかったから
……
あ…
ありがとう

もじ
もじ

お前たちの
頑張りだろ
礼を言うことじゃ
ない

それだけか？
じゃあ…

つっ

あ～
まだちゃんと
お礼してない

ちゃんと礼は
聞いたぞ？

～っ

エレノアさんの言った通りホント鈍いなぁ…

もじ

もじ

そ…そのだから…

!?

前に約束したでしょ…

ハァ

私を

がぁあぁあ

女として愛してくれるって

裏切られたSランク冒険者の俺は、愛する奴隷の彼女らと共に奴隷だけのハーレムギルドを作る

Betrayed S-Rank adventurer I make slave only harem guild with my love slaves

第62話

裸の王様と露出妻

本当にいいのかサナ？

ジロ

ジロ

!?

あんまりジロジロ見ないでよ

まだ覚悟ができてないなら

無理しなくていいぞ

覚悟はできてるよ——

私は

エギルさんの妻なんだから

!?

舌が入って…

口の中が

犯されてる

キスだけで気持ちよくて腰が動いちゃう……

はあ♥

はあ♥

ん♥

んちゅ♥

びくっ

キュン♥

びくっ

ストン

まだ始まったばかりだぞ

まず妻としてこいつの扱いに慣れてもらおうか

キュッ

お……

大きい……

できるか？

エギルさんは胸で刺激しながらされるのが弱いって

で…

できるし……

エレノアさんが言ってたよね

ビュッ

ビュッ

ビュッ

そうしたら
咥えて

はむう

胸に挟んで
吸い込む
ように——

ぐぷっ♥

ぐぷっ♥

サナはいつも
一生懸命で
真面目だな

じゅぽ♡

じゅぽ♡

エレノアに
教わったのか？

わ…私
駄目だった？

いや…だが
教科書通り
過ぎだな

もっと自分の
殻を破ったほうが
いい！

え!?

エギルさんの変態！

せっかくだ俺の妻としてお披露目したくてな

バカ!!

もじ

もじ

誰かに見つかったらって

はぁ…

意識すると

はぁ…

身体が敏感になって

キュン

濡れて…きちゃう……

ジワッ

どこまで行くのエギルさん？

たたっ

誰かに見つかるまでかな

ええーっ

あれ…ここは…

私たちの部屋だ

じゃあ壁の向こう側ではルナが眠って…

ん…はぁ♥

あ…ん♥

ル…ルナが起きちゃう～♡

だ…だめぇ今は敏感なの

びくっ

あっ…♥

クチュ♥

それなら
先に俺の妻に
なることを
伝えるといい

あぁ♥

声…♡
出ちゃう

ヒクッ

あん♥…

ヒクッ

ルナ
起きないで
……あ♥

ヒクッ

はぁん…♥

お姉ちゃん…
イっちゃう

イクうう
うう…♥

キュン♥

キュン♥

はーい♥

ごめんね
お姉ちゃんなのに
……

はーい♥

はーい♥

妹の前で
イっちゃった
…♡

はぁ♥
はぁ…♥
ここ…でするの？
はぁ♥
はぁ♥
ああ ここならサナが妻であることを多くの人に伝えられるだろ
それに人に見られるほうがサナは興奮するみたいだしな
そ……そんなことないよ…
今までお母さんの病気や姉である責任の重圧が強かった分の反動だろ
その重圧から解放してやる
いくぞ！
つうっ
びくっ
大丈夫か？
うん…そのまま…
ズズズ
びくっ
ああっ

そっか
お母さんの
病気が治って

あん♥

あぁっ…♥
激しいっっ♡♡

私 自分の
幸せを
願っても
いいのか

あぁ…♥
イイっ…♥
もっとぉ♥

ビクッ
ビクッ

私の幸せは――

みんな俺たちを
祝福してるぞ

俺の妻で
あることを
伝えてやれ！

ズーン
ズーン

みんな私たちを
見てるの
城の人たちも

街の人たちも

見て♡
エギルさんに
愛されて私が
女になるところを

エギルさんの
妻になるところを♡

あ♡

あん♡

ん!

あぁ♡

私はずっと
エギルさんの
妻だからぁ♡♡

よく言った
ご褒美だ!!

ぐぐぐ

ぐぐぐ

ぐぐぐ

本気でやるのエギルさん？

ドキ

ドキ

サナはそのほうが興奮するだろ

街中で…

はぁ…♥

はぁ♥

こんな格好…

裸の王様と妻が街中歩いてるって知られたら

変態扱いだよ

確かにな

じゃあ

やめるか？

はぁ――♥

はぁ――♥

ドキ

ドキ

する！

ああああっ

リオネにしては時間がかかったな

どうだった？

キィ！

今回も満たされませんでしたわ

レロ

おばさんの性癖はどーでもいい！

情報は？

私たちの欲しい情報はありませんでしたが

ゴクゴク

気になることが……

ヴォルツ王国を襲った神教団の一部は

エズリア大陸から来ていたそうです

ドン

わざわざエズリアから…

誰の指図だ？

指示したのは――

褐色姫と
呼ばれる女

イスリファ・オルス・
アーネストリー

⑧巻へつづく…

次巻予告
NEXT

精を補給する華耶

サナルナの父に天罰！

凌辱される姫君！

フィーもおねだり

レヴィアを
見捨てることは
できない！

全てに応える
無尽の優しさ！

レヴィア覚醒!!

Betrayed S Rank adventurer I make slave-only harem guild with my loving slaves.

YJ ヤンジャン YJC

裏切られた
Sランク冒険者の俺は、
愛する奴隷の
彼女らと共に奴隷だけの
ハーレムギルドを作る

VOL 8

原作 柊 咲　漫画 川田暁生

キャラクター原案 ナイロン

2023年夏、発売予定!!

※2023年4月現在の情報です。